2020年10月6日			
差枚	-806枚	RANK	B

実戦機種

SLOTまどか新編、パチスロ モンキーターンⅣ、パチスロ 天元突破グレンラガン、ディスクアップ

実戦レポート

10月に入ってからここまで2戦、高設定に座れている感覚はあるものの、結果がついてこない戦いが続いている。3戦目の今日こそ、バシッとA級、S級クラスの戦績を残したいものだ。そのためには何を打とうかな…と考えながら引いた入場抽選は「33番」。真ん中より少し前ぐらいの位置か。ノーマルタイプが強めという印象があるホールだけど、先月はそれで朝イチからノーマルタイプへ攻め込んで手痛い負けを喰らったからなぁ。「だから今日はヤメとこうか…」と「いや、だから今日こそ出してやる！」とのせめぎあいを繰り広げつつ入店。ノーマルタイプコーナーをチラリと横目に見ながら店の奥へ進むと、どうせ埋まっているだろうと思っていた「SLOTまどか新編」に空き台がある！　すかさず確保して実戦スタートとなった。

パチスロの設定推測というものは、機種によりその難易度に大きな違いはあるけれど、だいたいある程度の時間がかかるものである。しかしここ最近座れている高設定は、どれも打ち始めてすぐに高設定挙動を示してくれて、「しばらく打ち続けるしかねぇな」と思えることが多い。この日の「SLOTまどか新編」もまさにそうで、序盤からCZ突入率がめちゃくちゃ優秀で、1時間も経たないうちに直撃ATを確認。のみならず、午前中の段階でボーナス後のセリフ「未来には希望が溢れているのです（設定4以上濃厚）」が出てしまったのだ。他の台も直撃ATを引いていたりするし、これは全台系の気配がかなり濃くなって来やがったぜ。あとは今打っている全員で高設定挙動をまざまざと見せつけて、お互いに「やっぱり全台系ですよね」「ですよね」と安心感を共有していくだけだ。

…ったのだが、打てども打てども投資が止まらないオレの台。他の3台も頑張ってはいるものの、イマイチ伸び悩みに苦しんでおり、確定的な設定示唆が出ているのはおそらくオレの台だけということもあって、安心感ではなく不安感を共有しながらのプレイが続く。それにしても、高設定かもしれない4台分の実戦をだいぶ長いことチェックしているけど、チャンスモード少なすぎじゃねぇか？　レア役からのボーナスも通常モードのゲーム数振り分けもイマイチ弱い気がするし…さてはキサマ、設定4だな!?　そう言って実は設定6を捨てていた事件が昨日のことのように思い出されるけれど、「これが6でも捨てていいや」と思えるほどハマるし、ソウルジェム育たないし、40%あるはずの杏子は当選率1/6ぐらいだし、何ならほむらでもハズしたし、無理なのでヤメまーす。その後は空き台をチョロチョロと打つも、高設定らしき台がそう何度も簡単に見つかるわけもなく、それでも負債を半分ほど減らして実戦終了。ちなみに、ノーマルタイプの中で打とうと思っていたバーサスとディスクアップはめっちゃ出てた。ぐおおおお！